

トリクロリールシロップ 10%

【この薬は？】

販売名	トリクロリールシロップ10% TRICLORYL Syrup 10%
一般名	トリクロホスナトリウム Triclofos Sodium
含有量 (1mL中)	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、睡眠薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、体の中でトリクロロエタノールとなり、脳が興奮している状態を少しづつ、寝付きを良くする作用を示します。
- ・次の目的で処方されます。

不眠症

- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

脳波・心電図検査等における睡眠

- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にトリクロロールシロップ10%に含まれる成分または抱水クロラールに対して過敏な反応を経験したことがある人
 - ・急性間けつ性ポルフィリン症の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
 - ・小児
 - ・虚弱な人
 - ・呼吸機能の低下している人
 - ・心臓に重い障害のある人、または不整脈のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量は次のとおりです。

1 回量	成人	10～20mL
	幼小児	体重 1kg あたり 0.2～0.8mL を標準とし、 総量 20mL を超えない
飲む回数	就寝前または検査前	

●どのように飲むか？

決められた 1 回量を、計量カップ、スポイトなどではかり、飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、徐脈（めまい、意識の低下、考えがまとまらない、息切れ、脈がとぶ、脈が遅くなる、判断力の低下）、血圧低下（脱力感、たちくらみ、めまい）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・呼吸抑制などがおこることがあるので、息苦しい、息切れなどの症状があらわれた場合には使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。
- ・自動車の運転など危険を伴う機械の操作をしないでください。
- ・この薬を続けて飲んでしていると、薬をたくさん使いたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら医師に連絡し

てください。また、この薬の量を急激に減量したり、中止したりすることで、痙攣発作、せん妄、振戦、不安などの離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には徐々に減量されます。この薬の飲む量や飲む期間については医師の指示に従ってください。

- ・ アルコール飲料は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
無呼吸 むこきゅう	呼吸が 10 秒以上とまった状態
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
ショック ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下
顔面	血の気が引く、ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ
胸部	呼吸が 10 秒以上とまった状態、息苦しい、息切れ、動悸
皮膚	じんましん
その他	判断力の低下、薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす

【この薬の形は？】

販売名	トリクロロールシロップ 10%
形状	
外観・におい	橙色澄明の液でバニリン様のにおい

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トリクロホスナトリウム
添加物	白糖、バニリン、水酸化ナトリウム、パラオキシ安息香酸メチル、黄色 5 号、香料、エタノール

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 凍結を避けて冷蔵庫など（1～15℃）で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

(<http://www.alfresa-pharma.co.jp>)

学術情報部 お客様相談室

電話番号：0120-060334

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）